

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	大阪大学(吹田)工学U6棟新営その他	階数	地上5階
建設地	大阪府吹田市山田丘	構造	RC造
用途地域	第二種中高層住居専用地域,第四種	平均居住人員	109 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	学校,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年3月 予定	評価の実施日	2021年2月10日
敷地面積	994,412 m ²	作成者	伯耆靖裕
建築面積	1,090 m ²	確認日	2021年2月12日
延床面積	2,926 m ²	確認者	伯耆靖裕

本図を右クリックし、「図の変更」を選択していただくことで、外観写真を貼り付けることができます。

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

LR のスコア = 3.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合 地球環境に配慮し、地域・社会と共生する安心・安全なキャンパスを整えつつ、教育研究における次世代型産学連携拠点を目指します。	その他 特になし	
Q1 室内環境 ・遮音対策を高める ・断熱性能の向上を図る	Q2 サービス性能 ・配管材の長寿命化を図る	Q3 室外環境(敷地内) ・建築設備(空調設備)は主に屋上に設置し、排熱の放出に配慮する
LR1 エネルギー ・照明器具はLED、空調・換気設備機器は効率の高いシステムの採用	LR2 資源・マテリアル ・主要水栓や衛生機器は節水型機器を採用	LR3 敷地外環境 ・空調機器や換気設備の騒音の抑制を図る ・廃棄物の保管、集積の悪臭防止(ごみ置場設置)

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R2-0153

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	大阪大学(吹田)工学U6棟新営その他工事						
	建設地	大阪府吹田市山田丘						
	用途/区分	学校(大学等)						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						A	
①	CO2削減						4	
②	みどり・ヒート アイランド対策						2	
③	建物の断熱性						5	
④	エネルギー削減						5	
⑤	自然エネルギー直接利用						—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
	エネルギー消費量の報告						報告しない	
【評価項目】								
	項目	評価内容				スコア	評価	
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.9	4	
②	みどり・ヒートアイランド対策							
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				1.0	2	
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				3.0		
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0		
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				5.0	5	
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				4.7	5	
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	—	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
その他								
		技術の名称			考慮事項			
	先進的技術の導入							
	特に配慮した事項							